

山形県感染症発生動向調査 週報

2026年 第16週

(2026年4月13日～2026年4月19日)

2026年4月22日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109

< 定点把握感染症 >

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

定点種別	感染症	全国			山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
		第15週	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	
急性呼吸器感染症	内科・小児科 (定点医療機関数)	(38)			(7)			(10)			(4)			(5)			(12)						
	インフルエンザ	5444	157	178	△	12	23	△	37	42	△	35	25	▼	13	46	△	60	42	▼	9352		
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	2340	33	43	△	2	10	△	9	2	▼	4	3	▼	8	20	△	10	8	▼	1692		
	(定点医療機関数)	(25)			(6)			(7)			(3)			(2)			(7)						
小児科定点	RSウイルス感染症	1186	53	52	▲	7	8	▲	3	10	△		1	△	37	29	▲	6	4	▼	503		
	咽頭結膜熱	529	10	9	▼	2	3	△	3	2	▼	1		▼	4	4	▲				152		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5132	137	154	▲	30	46	▲	72	76	▲	9	1	▼	16	26	△	10	5	▼	1960		
	感染性胃腸炎	10396	99	103	△	27	29	▲	23	19	▼	9	18	△	15	7	▼	25	30	△	2710		
	水痘	736	5	10	△	2	2		3	2	▼		1	△		1	△		4		245		
	手足口病	251	1		▼				1		▼										12		
	伝染性紅斑	184	1	2	▲		1	△	1		▼		1	△							81		
	突発性発しん	565	9	9	▲	1	3	△		2	△	2	1	▼	2	1	▼	4	2	▼	127		
	ヘルパンギーナ	74		1	△											1	△				3		
	流行性耳下腺炎	55																			4		
	(定点医療機関数)	(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)						
眼科定点	急性出血性結膜炎	3																			0		
	流行性角結膜炎	278	4	3	▼				3	2	▼							1	1		80		
	(定点医療機関数)	(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)						
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	33																			1		
	クラミジア肺炎	3																			0		
	マイコプラズマ肺炎	78																			40		
	細菌性髄膜炎	9	1		▼	1		▼													3		
	無菌性髄膜炎	9																			2		

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 通信欄 >

〇トビックスで、「麻しん(はしか)」について掲載しています。

〇2026年4月6日(第15週)から、これまで定点医療機関から月ごとに報告されていた「薬剤耐性緑膿菌感染症」は、全ての医療機関から報告される全数把握感染症となり、名称も「多剤耐性緑膿菌感染症」に変更されました。これに伴い、第15週の週報からは7ページの〈全数把握感染症 一覧表〉に同感染症を追加し、2026年5月の月報からは「薬剤耐性緑膿菌感染症」を削除します。

警報・注意報の基準値(参考値)

疾病名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、警報・注意報の基準値については参考値として取り扱いいます。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

<定点把握感染症 年齢別報告数>

種別点	感染症	年齢														合計	
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳		
急性呼吸器感染症定点	内科・小児科																
	インフルエンザ			7	5	7	4	11	20	23	23	11	26	11	2	178	
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)															43	
小児科定点	RSウイルス感染症	3	5	23	8	8	3	2								52	
	咽頭結膜熱		5	1	1		1						1			9	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	3	5	18	13	25	10	29	12	16	19		3	154	
	感染性胃腸炎		7	16	14	7	12	9	7	8	4	5	8	2	4	103	
	水痘						1	1	4		1		3			10	
	手足口病															0	
	伝染性紅斑				1		1									2	
	突発性発疹		4	3	1	1										9	
	ヘルパンギーナ			1												1	
	流行性耳下腺炎															0	

<全数把握感染症>

感染症	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	2				1	第15週 追加報告(1)
腸管出血性大腸菌感染症				1		型別:O血清群不明 VT2(1)
レジオネラ症				1	1	
侵襲性肺炎球菌感染症	1					ワクチン接種歴:3回(1)
梅毒	1	1				
百日咳				1		ワクチン接種歴:不明(1)

<トピックス>

麻しん(はしか)について

麻しんとは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。感染力が非常に強く、同じ部屋にいただけで感染することがあります。また免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症すると言われています。

山形県では2017年に流行がみられて以降報告はありませんが、今年に入って国内での報告数は増加しています(図)。現在、輸入事例が多く報告されていますが、国内での感染事例もみられています。

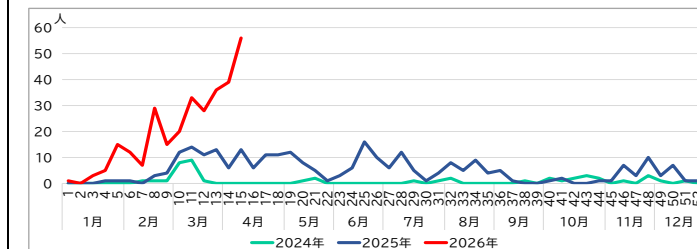


図 全国麻しん週別報告数

症状

感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後39度以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、1000人に1人の割合で脳炎を発症します。



感染経路

空気感染、飛まつ感染、接触感染でヒトからヒトへ感染します。周囲への感染可能期間は、発症日の1日前から解熱後3日間を経過するまでの期間で、発症前から感染力があります。

予防方法

手洗いやマスクだけでは予防することができません。最も有効な予防法は麻しん含有ワクチンの接種です。2回接種することで発症予防と重症化予防の効果があり、さらに周囲へ感染を広げるリスクも下げることができます。定期接種として1歳と就学前の2回接種が行われています。過去に2回の予防接種を受けているかどうか、母子手帳などで確認しましょう。今まで麻しんにかかったことが確実である方以外で、接種歴が1回以下の方は、免疫が不十分の可能性があるので追加接種を検討しましょう。

詳しくはこちらへ

厚生労働省



国立健康危機管理研究機構(JIHS)



【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

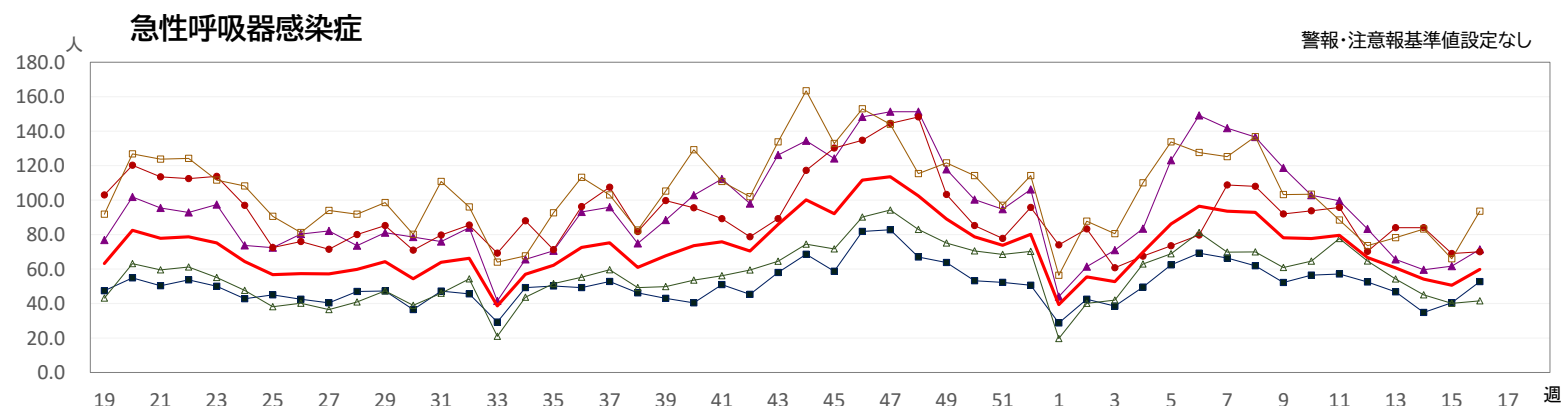
感 染 症	全国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県) 第1~16週
	第15週	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(38)			(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	162008 43.47	1924 50.63	2274 59.84	△	432 61.71	500 71.43	▲	405 40.50	527 52.70	▲	276 69.00	280 70.00	△	330 66.00	468 93.60	△	481 40.08	499 41.58	△	41841

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県													合計
	第16週													
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1~ 4歳	5~ 9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳~		
急性呼吸器感染症	181	1070	551	157	31	30	46	42	50	39	43	34	2274	

< 定点当たり報告数グラフ >



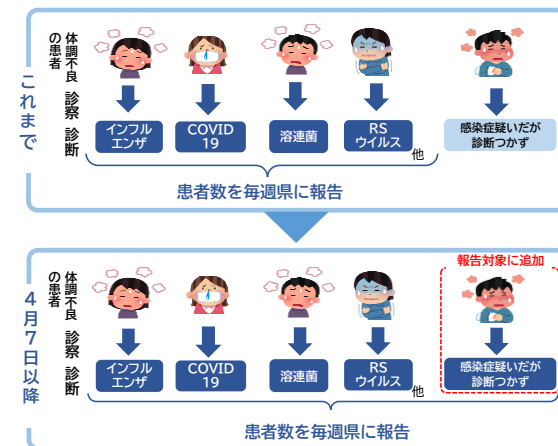
急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が2025年4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、症例定義※に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ▶▶

